

八学大 女子ラグビー部創設

八戸

八戸学院大(大谷真樹学長)に2017年度新たに誕生した女子ラグビー部「レッドシャークス」が26日、八戸市庁を訪れ、小林眞市長に創部を報告。メンバーは「たくさんの人に応援される

市長訪ね抱負

一部「レッドシャークス」が26日、八戸市庁を訪れ、小林眞市長に創部を報告。メンバーは「たくさんの人に応援される



チーム名に合わせてポーズを決める八戸学院大女子ラグビー部のメンバーと小林眞市長(右から3人目)

チームになりたい」と抱負を語った。

女子ラグビー部の創設は東北の大学で初めて。新1年生5人が入部し、本格始動した。まだ単独チームでの活動はできないが、青森県代表として国体選手に選出されることを現在の目標とし、日々の練習に励んでいる。

この日市庁を訪ねたのは、田端ひかる主将ら選手5人と工藤祐太郎監督、山下祐史ヘッドコーチ。陸上から転向し、ラグビーを始めたという熊谷彩夏さんは、「長所を生かせるように頑張りたい」、田端主将は「粘り強いプレーをしたい」とそれぞれ意気込んだ。小林市長は「五輪種目にもなり、注目度の高い競技。皆さんを応援したい」と激励した。(金濱千優希)